

東京都美術館

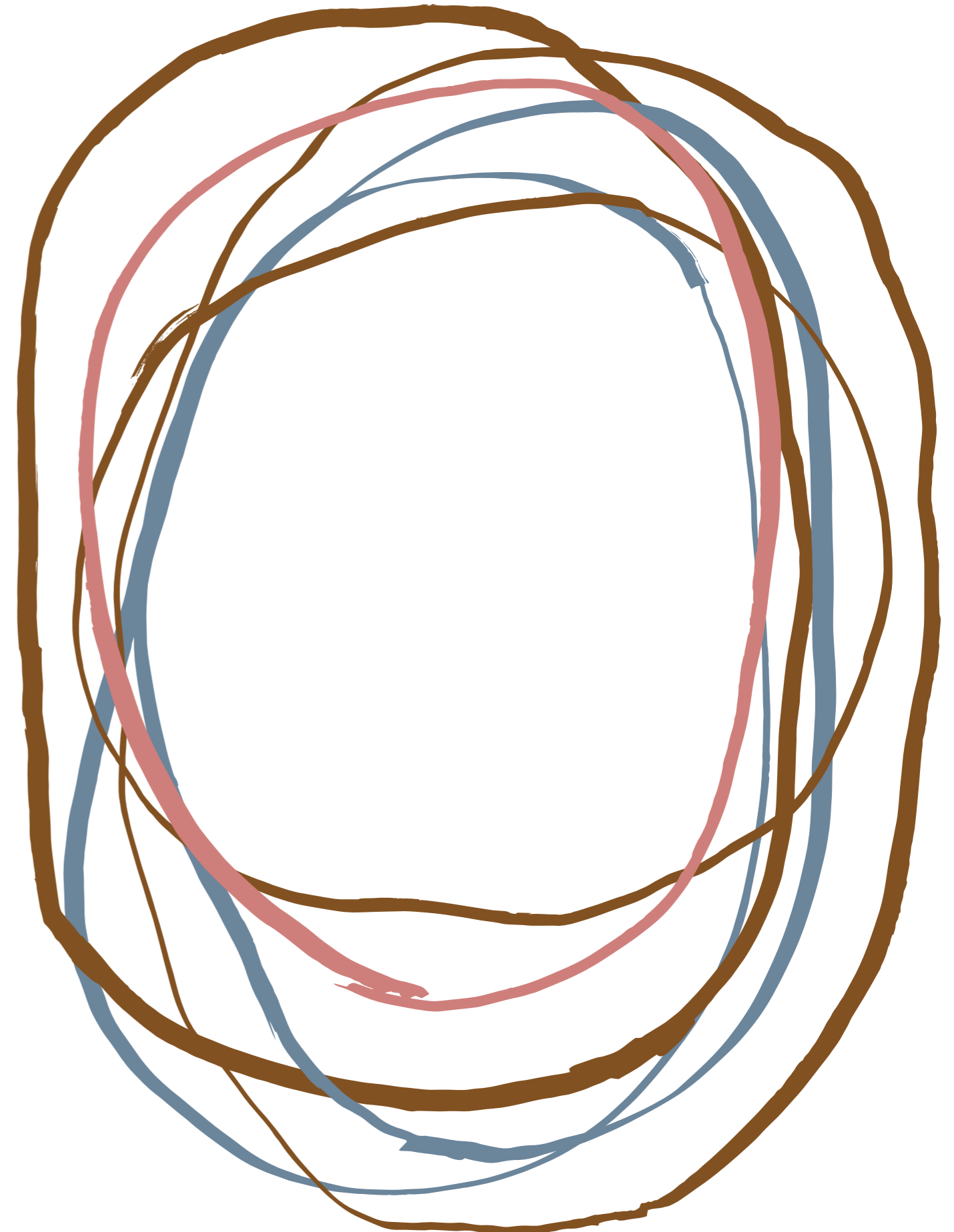


東京藝術大学

ずっと美術館で、  
ずっとアートを

Creative  
Ageing

ずっとび



## お問い合わせ

東京都美術館アート・コミュニケーション係

〒110-0007 東京都台東区上野公園8-36  
TEL: 03-3823-6921 (東京都美術館 代表番号)  
E-mail: info@zuttobi.com



「Creative Ageing ずっとび」  
ウェブサイト

<https://www.zuttobi.com>

「Creative Ageing ずっとび」は、東京都美術館と、東京藝術大学が拠点となって推進する「共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点」が共催して事業を進めています。



シニアになっても「ずっと」  
アートや美術館が暮らしの中にあるように、  
老いや年齢に関わらずさまざまな年代の人々が、  
創造的に作品と出会う機会を  
つくるプロジェクトです。



美術館で作品鑑賞や会話が楽しめるように、  
東京都美術館と東京藝術大学が連携してプログラムをつくっています。

## アクティブシニアを 対象としたプログラム

元気なシニア世代を対象とした、美術館での参加型プログラム。展示室で作品をじっくり味わうだけでなく、同世代、異世代の人と新しく出会い、作品から感じたことを言葉にしてお互いに伝え合うことを大切にしています。鑑賞や対話を軸にした活動に加えて、身体表現を取り入れたワークショップも行うなど、幅広くアクティブシニアが楽しめる企画を実施しています。

活動の記録や動画はこちらから

[https://www.zuttobi.com/active\\_programs](https://www.zuttobi.com/active_programs)



「動く、遺影!イエイ!イエー!」の様子(2024年)

## 認知症が気になる方とその家族を 対象としたプログラム

美術館に行きづらいと感じている方を対象に、アートや美術館体験を楽しんでもらえる機会を、医療機関や地域福祉の専門家と一緒につくっています。東京都美術館や東京藝術大学大学美術館を会場とした鑑賞会のほか、オンラインでも作品を楽しめる企画を実施しています。

活動の記録や動画はこちらから

[https://www.zuttobi.com/dementia\\_programs](https://www.zuttobi.com/dementia_programs)



「ずっとび鑑賞会」の様子(2024年)  
加藤栄三《秋》絹本着色 1931年 東京藝術大学蔵



オンライン会議システム (Zoom)を用いて、自宅に  
いながら展覧会の作品を  
楽しむ「おうちで印象  
派展」を開催しました。

◀ 記録映像の一部



## 活動のパートナー「とびラー」

ずっとびでは、とびらプロジェクトで活動する市民のアート・コミュニケータ(愛称:とびラー)が参加者に寄り添い、安心して鑑賞や対話を楽しめる場をつくります。とびラーは、とびらプロジェクトで行っている基礎講座や実践講座、および美術館での活動やさまざまな学びの機会を通して、シニアの方々とのコミュニケーションについて考え、実践しています。